

いわて 議会だより

2015.3

35

Contents

- 2 第4回定例会
- 3 一般質問
- 10 全議員研修報告、総務文教常任委員会報告
- 11 議員提出議案
- 12 フォトギャラリー、3月議会の本会議開催予定日

発行：岩出市議会
〒649-6292 岩出市西野 209
編集：議会広報常任委員会
TEL 0736-61-6947
E-mail gikai@city.iwade.lg.jp

平成26年第4回定例会議決結果

案 件 名	結果	賛否（○……賛成 ×……反対 —……賛否に加わっていない）															
		公明党議員団			日本共産党議員団		岩出クラブ			郁青青クラブ		ネット岩出		尾和弘一			
		宮本要代	玉田隆紀	田畑昭二	市來利恵	増田浩二	西野豊	上野耕志	福山晴美	松下元	山本重信	三栖慎太郎	梅田哲也		田中宏幸	井神慶久	吉本勸曜
平成25年度岩出市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	×	○	○	○	（議長のため、賛否に加わることができない。）	○	○	○	○	○	○	×
平成25年度岩出市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
平成25年度岩出市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
平成25年度岩出市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
平成25年度岩出市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
平成25年度岩出市墓園事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
平成25年度岩出市水道事業会計剰余金の処分及び収入支出決算認定について	可決及び認定	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
専決処分の承認を求めることについて（平成26年度岩出市一般会計補正予算第3号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の一部改正について	可決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
岩出市手数料徴収条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市国民健康保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
岩出市上水道事業運営審議会条例の制定について	可決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
岩出市消防団条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
岩出市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
平成26年度岩出市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
平成26年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×
平成26年度岩出市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
平成26年度岩出市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
平成26年度岩出市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
平成26年度岩出市水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市道路線の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
和歌山県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
岩出市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
子ども医療費助成制度の拡充を求める要望書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
那賀高校に県立中学校の設置を望む要望書の提出について	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	

一 般 質 問

* 質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
* 内容等については、質問者にお問い合わせください。

宮 本 要 代 議員 4 頁

- ◎「日帰り人間ドック」「脳ドック検診」について
- ◎不登校児童・生徒の対策について

福 山 晴 美 議員 5 頁

- ◎紀の国わかやま国体の開催準備について
- ◎岩出市巡回バスの運行について

市 來 利 恵 議員 6 頁

- ◎敬老会会場となる総合体育館について
- ◎「子どもの貧困対策の推進に関する法律」に基づく大綱について

増 田 浩 二 議員 7 頁

- ◎中小企業への支援について
- ◎国民健康保険制度の改善を
- ◎岩出市の発展や岩出市の名前を広める上でも市民の人材を活用した取り組みを

田 畑 昭 二 議員 8 頁

- ◎健康ステーション設置について
- ◎給食センター及び各保育所の残菜、残食の処理法について

尾 和 弘 一 議員 9 頁

- ◎産廃処分場について
- ◎教育委員会制度について
- ◎防災対策について
- ◎若もの広場について
- ◎還付加算金返還について
- ◎共通番号制について
- ◎予防接種について
- ◎新設根来安上道路工事について

議員の寄附は禁止されております。



公職選挙法で市議会議員は、選挙区内の人に対して、次のとおり寄附等の贈り物をする事は、禁止されています。
皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

市議会議員一同



宮本 要代 議員
(公明党議員団)

脳ドック検診の 定員枠拡大を

脳ドック検診は、脳に潜む異常をMRIやMR Aによる高度な医療検査機器を用いて早期発見し、脳卒中や認知症の発症を未然に防ぐ健康管理システムです。

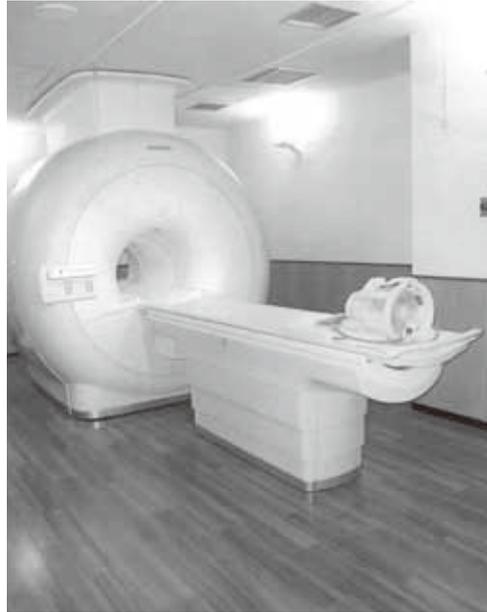
質問

①「脳ドック検診」の導入理由と申し込み状況は、
②来年度以降「脳ドック検診」の定員を増やす考えは。

答 弁 生活福祉部長

①脳ドックは、クモ膜下出血や脳梗塞など脳卒中の症状が出現する前に、異常を発見することを目的とした検診です。

岩出市では、脳血管疾



MRI 那賀病院提供

患による保険給付が多く、こうした病気が発症した場合、麻痺症状など、その後の生活に大きな影響を与える。

また、窓口等でも脳ドック実施を要望する声があったことから導入した。

募集は先着順でなく、抽せん方式で実施。定員20名に対し、90名の申し込みがあった。

②今年度の申込者数より関心の高さが感じられ、定員の見直し等、検討する。

質問

生活習慣病の予防などの取り組みは。

答 弁 生活福祉部長

○育児指導の中で、乳幼児期からの生活習慣病予防のための食生活指導の実施。

○成人を対象として、げんきアツプ教室や健康講座、各種がん検診などで生活習慣病のための保健指導や心の健康について啓発。

○特定保健指導の対象者には、生活習慣の改善のための取り組みの支援や食事、運動等の改善に向けた実践的な指導、励ましの支援を行っている。

質問

適応指導教室について、また、適応指導教室の先生の拡充や教室の拡充は。

答 弁 教育長

現在の入室登録者は、中学生14名です。

適応指導教室に出席した場合、学校での出席扱いです。

教室で定期テストを受けた場合や取り組んだ課題を学校に提出した場合、学校の評価に反映する。

現在、指導員2名、補助員2名を雇用し、現体制で対応可能であると考えているが、教職経験者等で適任のボランティアがいればお願いしていきたい。

施設は、今後の重要な課題と認識している。



福山 晴美 議員
(岩出クラブ)

紀の国わかやま国体 めざして

紀の国わかやま国体の 開催準備

本大会開催への練習の場としてリハーサル大会が行われた。

台風接近による大雨洪水警報が発令され、台風対策も含め、当初予定されていたことができないこともあった。

質問

①リハーサル大会での問題点、課題。

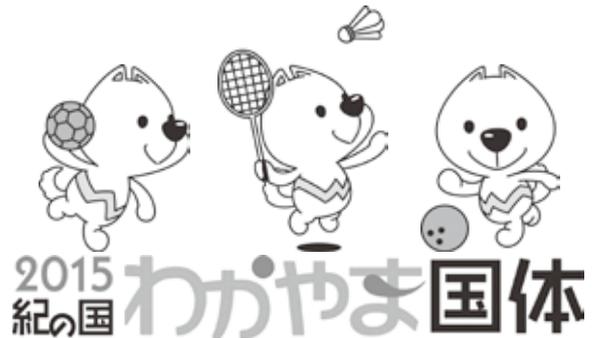
②皇族の方々が来られるとした場合の対応は。

答 弁 市長公室長

①ハンドボール競技選手控室と体育館と結ぶ動線の雨よけ・アップ会場がない。

ボウリング競技

選手控室のモニターとアナウンス・ボール置き場のスペース・エレベーターがないのでボール等の移動が大変であった。



バドミントン競技

大会関係者、選手、一般観客の動線の区別・タクシー乗車場所の確保・観客席が少ない・案内表示リハーサル大会を経験したことで、運営面は解消できるものと考えている。

施設面は、限られたスペースの中で有効に利用できるよう改善していく。

②正式決定は、会期一か月前になる。

県・県警等の関係機関との調整が必要。

岩出市巡回バスの運行

県内で一番若いまちと言われている岩出市も、交通弱者である高齢者の増加は避けられない。

通院・買物・地域内の日常生活の移動手段として、巡回バスのネットワーク化が必要不可欠であると考ええる。

質問

①巡回バスアンケート調査では。

②乗車数を増やす方策。

答 弁 総務部長

①回収数は2333通で、そのうちバスを利用されているのは1222通。

○利用目的
商業施設・病院・金融機関・市役所。

意見

住んでいる家の近くや病院の近くにバス停があればと思う。

バス停表示をわかりやすくしてほしい。

将来、運転免許証を返納した際には利用したい。バスの利用方法がわからない。

②アンケートの意見を参考とし、利用者にとって利便性の高い運行が可能となるようなバス停配置の研究を行う。

利用方法の周知については一人でも多くの利用者が増えるよう、いろいろな場所で説明、啓発を行う。



敬老会会場の 安全対策を



市来 利恵 議員
(日本共産党議員団)

質問

①敬老会開催会場となる総合体育館の座席は、階段状となつているため、移動時に転倒の危険性があると市民の方から不安の声がありました。

安全性について市の認識と取り組みはどうか。
②敬老会の内容について参加者、該当者からの意見の収集や把握は、どのようになつているのか。

答 弁 生活福祉部長

①歩行に支障のある方には、転倒の心配があることは十分認識している。階段の昇降ができない方のために、直接フロアで観覧できる場所を設けている。

会場内には職員を配置し、介添えや移動時の支援を行うなど、転倒に対し細心の注意を払つよう努めている。

②敬老会終了後にいただいた参加者の意見や、運営スタッフである各係ごとに意見を出し合い集約



している。

老人クラブ代表、区自治会代表などからなる実務委員会で、問題解消への対応や改善方法など慎重に協議、検討している。今後、高齢者の視点での検討、協議、事故防止の徹底に努めていく。

子どもの貧困対策

日本の子どもの貧困率は、2012年過去最悪の16・3%と発表されました。

2013年6月に成立した「子どもの貧困対策推進法」は、貧困解決に社会全体で取り組んでいく第一歩となります。

この法律は、子どもの将来がその生まれ育つた環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るため、子どもへの貧困対策の基本となる事項を定めることにより、総合的に推進する目的としています。

質問

子どもの貧困をなくすためには、国はもろろん地方自治体としても力を発揮し、実態に即した支援が必要だが、法律に對

する市の考えはどうか。

答 弁 市長

子どもの将来がその生まれ育つた環境によって左右され、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図る対策は極めて重要。

国・県と協力し総合的に取り組まなければならないと認識している。



中小企業の経営支援を

**小規模基本法成立
どう活用するのか**

質問

大企業優遇のアベノミクス施策で日本経済は良くならなかった。中小企業は、企業数の99・7%を占め労働者は全体の7割を担う日本経済の主役。国で小規模基本法、小規模支援法が成立したが、中小零細企業の生活を守る取り組みが求められます。どう認識し市政運営に生かすのか。



増田 浩二 議員
(日本共産党議員団)



638自治体で実施している住宅リフォーム助成制度の取り組みは。

答 弁 市長・事業部長

具体的に示されていないが、国・県と連携して取り組んでいきたい。小規模企業の実態を明らかにする調査、結果を公表

しなければならぬため、

国の動向を注視する。個人事業主や小規模事業者の振興は必要。小規模事業者支援策を検討する。

住宅リフォーム助成制度を導入する考えはありません。

国保税の引き下げ施策を

質問

「高い国保税を下げたい」が、国保利用者の声です。税回収できない不納欠損金が25年度だけで1億円を生み出している。余剰金が生まれれば一般会計に戻さず基金に積み立て改善を図るべきです。負担軽減へ、ルール分以外に繰り入れを行っている自治体を見習うべきと考えます。

答 弁 生活福祉部長

滞納整理の中で財産調査など法的手段を経て実施してきたものです。

医療技術の高度化や高齢化に伴い医療給付費総額は、増加傾向にあると考えられ、運営は厳しいものがある。

持続可能な制度運営を行うため、国保税を引き下げる状況ではない。必要以上の補填はしない。



人材育成へ応援を

質問

全日本歌唱コンテスト準優勝など歌番組優秀者、スケボーや腹話術、マジックなど特技や技量を持った方などへの活躍の場の提供や支援策。地元の人材を活かしたイベントの取り組みを。

若い世代の意見を取り入れるイベントやイベントを考える人材育成など、企画面での市の考え方は。ポスターなども早い段階で取り組んではどうか。

答 弁 市長公室長

人材リストを作成しており、家庭教育学級、ふれあい学級、文化教室、講演会講師等をお願いしています。イベント面では、子守唄サミット、いわで夏まつり、生涯学習を考えるつどい等で協力をいただいております。那賀青年会議所のナガール、笑de会の団体などにも活動いただいております。



田畑 昭二 議員
(公明党議員団)

介護予防で健康寿命の延伸を

質問

・第2次岩出市長期総合計画の「元気で健康なまちづくり」の中で、健康な時から介護予防に取り組むことができ体制を確立するとあるが、具体的にどのような取り組みがされているか。

・介護予防には食事や運動・趣味など、色々な方法があるが、誰もが気軽に健康づくりを開始し、実践できる拠点として、健康ステーションが他自治体で設置されつつあるが、介護予防の観点から当市においては、設置を検討してはどうか。

健康ステーションの設置を

健康ステーションの情報収集を行う

答 井 生活福祉部長

現在、介護予防の取り組みは、高齢者が住みなれた地域で、いつまでも自分らしい生活が送れる健康で予防介護の活動を継続的に行うことで、元



元気な老後

気な高齢者を地域に増やしていく目的で、65才以上元気な高齢者の方たちに各種介護予防事業を実施しています。

健康ステーションの取り組みは、あまり健康に関心のない方に、関心をもっていただくためのきっかけづくりに、買い物などの機会に気軽に立ち寄り、健康チェック等を体験できるものと、考えられます。

今後、他県や他市の取り組みの内容等を含め、情報収集に努めてまいりたいと考えている。



楽しい給食

大規模な機械入れ替への時に検討する。

答 井 教育部長

みの液体部分は良好な液肥となり、固体部分はバイオにより完全に蒸発し、衛生面、循環型再利用の観点から導入を視野に入れてはどうか。

残菜・残食の1日当りの総合計は、公立保育所・各小中学校を合わせて、約190リットルとなっている。

処理法は、給食センターに集められた残食は、週2回養豚業者に引き取ってもらっている。

削減型生ごみ処理機の導入は、ごみ減量に役立つとともに、循環型社会の構築にも役立つすべから機械であると認識している。しかし、この機械の導入をすると、高額な投資が必要となるため、今後、給食センターの大規模な機械等の入れ替え時に導入も検討していきたい。

削減型生ごみ処理機の導入を

質問

・当市の総給食数と総残菜及び残食量は、1日当たり平均何キログラムになるか。

・残食等の処理方法に、削減型生ごみ処理機があり、この方式は生ご



尾和 弘一 議員

隣接地に 産廃処分場

質問

3年前から岩出市に隣接する地に「産廃処分場が建設」されようとしている。熊野古道の玄関口であり自然環境を破壊するとして反対運動が起きております。

生活・農業用水の汚染や土砂災害の恐れがあり影響を受ける境谷・山地区は岩出市民である。

この建設についてどのように取り組みをするのか。

答 弁 市長

和歌山市が法に基づき可否の判断をする。本市では安全な通行の確保、水質汚染がないよう要望書を提出しています。生活環境調査に対する意見等は地元自治会等に説明を行い和歌山市長宛に通知している。

市としては、当該事業が法令等に適合している場合、中止を求めるものでない中、今後も地元意見の反映を求めてゆきます。

質問

尾花市長は「適正な場所ではないと考える」

仁坂知事も「住民が反対する限り許可はしない」と明言しているが、市長は反対か賛成なのか基本的な認識を再度求める。

答 弁 市長

当該事業が法令等に適合している場合、中止を求めるものではない。

これまでも関係自治会に情報提供を行い、併せて意見等を聞き、今後も和歌山市から本市に意見照会や計画上の変更等が



産廃処分場反対の看板

あれば、市としても和歌山市のほうに進めてゆく。

質問

①わかもの広場に時計の設置をすべき

答 弁 教育部長

既に要望を受け、平成27年度設置に向けて検討しておる。また、テニスコート、サッカー場についても今後の課題として検討します。

質問

①児童に対する予防接種に関して二重・三重に初診料を支払っているがこれは明らかに税金の無駄使いであり是正すべきである。

答 弁 生活福祉部長

保険診療ではなく、自由診療であり、金額設定は定められたものはない。初診料等は、国の基準に基づいたものである。同時接種時も二重払いには該当せず、医師会との協議により契約して予算執行しているものである。現時点では、基本的には問題はないと考える。

質問

土砂災害危険区域に看板の設置をすべきである。

答 弁 事業部長

3月1日に全戸配布を予定している防災マニュアルに掲載し、住民に周知を図るとともに大雨が続き危険であると判断した場合パトロールを実施します。指定区域が広範囲であり、一部に設置した場所だけ危険であること誤った認識をされることとなり啓発の看板は設置する考えはない。



箕面市の土砂災害危険区域看板

全議員研修報告

平成26年11月12日に、人と防災未来センター、関西大学社会安全センター長・教授 河田恵昭氏を講師に招き、「災害時における議会や議員の対応について」をテーマに研修会を行いました。



河田氏は、災害分野における著名人で、東日本大震災や昨年の夏に起こった集中豪雨、広島市の土砂災害時等の自治体の災害対応がうまくいかなかった事例を通して、議会の役割を語られました。



こうした災害時に議会として何ができるか、また、何をすべきか、毎回考えさせられます。

自治体と議会の役割が異なりますが、今後も「安全で安心して暮らせるまちづくり」のためにも、非常事態には協力し、市民の皆様方への安全を確保することが必要であると再認識し、研修を終えました。

総務文教常任委員会

委員長	井神 慶久
副委員長	宮本 要代
委員	梅田 哲也
〃	西野 豊
〃	三栖慎太郎
〃	市來 利恵

○平成26年12月7日
火災の多いシーズンを迎えるにあたり、火災予防運動の一環として、市民の防火思想の高揚を図るため、一日防火デーが実施されました。



○平成27年1月3日

新春恒例の消防団出初式が、大宮緑地総合運動公園で消防関係者出席の中、行われました。
また、永年にわたり地域防災活動に貢献された消防団員の方々が表彰されました。



その後、消防ポンプ車等27台により一斉放水が行われ、幾重にも重なった水と虹が美しいアーチを描いていました。

今後も消防団の皆様には、市民の生命と財産を守るため、ご尽力いただきますようお願いいたします。

要望書を提出しました

子ども医療費助成制度の拡充を求める要望書

近年、人口減少と少子化問題については、早急な対策が必要とされ、女性が安心して出産や子育てと仕事を両立できる社会の実現や安心感と納得感が得られる子育て支援施策の充実が求められています。

市は、これまで、子どもの医療費助成など個人給付的なものは統一された制度の中で、全国すべての子ども、子育て家庭に平等に提供されるべきとの認識のもと、県、近畿、全国市長会の重点要望として国に働きかけていると繰り返し述べられています。

当市議会においても、子ども医療費の自治体間格差を早急に解消し、安心して子育てするためにも、国の制度として実施されるべきであるとして平成25年12月17日付けで、「国による子ども医療費助成制度の創設を求める意見書」を政府、国会に提出しているところであります。

一方、国民生活に目を移すと、平成26年4月からの消費税引き上げ以降、景気の向上は実感できるようなものではなく、実質賃金は伸び悩み、消費は下げ止まる見通しもなく依然として低迷しており、特に、経済的な負担が多い子育て世代には非常に厳しい状況が続いております。

現在のところ国においては、社会保障と税の一体改革の中で、子ども医療費助成制度の創設に向けた動きは見られず、今後においても、制度化への見通しは明るいとは言えない状況である中、県内の自治体では、制度内容の見直しが図られるなど、地域間での子育て家庭における経済的な負担感の相違が顕著となっています。

よって、本市においても、子ども医療費助成の拡充を行い、子育て世帯の負担軽減を図られるよう強く要望します。

(提出先) 岩出市長



那賀高校に県立中学校の設置を望む要望書

本県における公立の中高一貫校は、県立向陽中学校をはじめ古佐田丘、田辺、桐蔭、日高の5校が地域別に設置されています。各学校では、それぞれの高等学校に併設し、6年間の系統性のある教育課程のもと、地域性や高等学校の特色を活かしながら、学習や進路指導、生徒会活動やクラブ活動等において、様々な実績や成果をあげています。

岩出市においては、以前から公立の中高一貫校の設置を望む声が、小学生を持つ保護者を中心に強くあり、特に、今年度の市政懇談会においては、複数の会場で那賀高校に県立中学を設置してほしいという要望が数多く出されました。

岩出市では、これまで小学校の全卒業生の約10%の児童が、毎年、岩出市以外、特に、和歌山市にある県立中学校や私立中学校に多く進学している状況にありますが、距離的、経済的な問題等を考えると、潜在的な進学希望者はまだまだ多くいるのではないかと推察されます。

那賀高校に県立中学の設置が実現すれば、岩出市内の小学生及びその保護者に学校の複線化による進路選択の幅を保障することになるとともに、岩出市全体の学校教育の発展や質的向上につながることを期待できます。

また、グローバル社会が急速に進展する中であって、国際理解教育を特色とする那賀高校の教育資源を生かしたグローバル人材の育成も視野に入れることが出来、関西国際空港に近いゲートウェイ都市としての岩出市が、今後、更なる発展や成長するための、大きな活力、原動力となるはずです。

よって、岩出市議会は、那賀高校に県立中学を設置していただきたく、強く要望いたします。

(提出先) 和歌山県教育委員会



3月8日 岩出市マラソン大会

いわで
ふおとぎやらりい



駆け抜ける 根来路



みんなで応援しよう

3月議会の本会議開催予定日は、次のとおりです。
ぜひ傍聴にお越しください。

3/2(月)、6(金)、23(月)、24(火)、25(水)

編集後記

表紙の桜は市役所駐車
場から見える公園の寒桜
です。

今年も、暮れから新年
にかけ、満開に咲いていま
した。

寒さ厳しい時期の桜で
したが、冬のすみきった
青空に咲く姿に、一年のス
タートを切らせてもらい
ました。

3月議会が始まります。
平成27年度の予算が審
議されますが、市民の皆
様に反映される予算とな
るよう、しっかりと見きわ
めていきたいと思えます。

議会広報常任委員会

委員 長	吉本 勸曜
副委員 長	宮本 要代
委員	田中 宏幸
委員	西野 豊
委員	山本 重信
委員	福山 晴美
委員	市来 利恵

